

令和5年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

新しい価値と可能性を追究する教育を実践し、多様性を尊重し自立できる子どもを育てる

【学校 目標】

○生徒一人ひとりが主体的に学び、高め合い、思いやり、生き生きと活動する教育実践を行う

【現状と課題】

- 視点1 基礎的な学習内容が十分理解できていないため、物事を深く考える力や先を見越した思考力が身につけにくく、自身の思いや考えを相手に伝えたり説明したりすることを苦手とする生徒が少なくない。また、ICTの効果的な活用などによる個別の支援を必要とする生徒が少なくない。
 ○視点2 保幼小より小集団で育っているため、他者との競い合い経験が乏しい。また、リーダーとなって集団を引っ張っていく経験が少なくない。
 ○視点3 多人数の中での人間関係(コミュニケーション能力)を築くことが苦手な生徒や特別な個別支援を必要とする生徒の割合が急増している。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○生徒が授業の始めに「まとめ」と運動された「めあて」を確認し、「まとめ」と「振り返り」の時間で学びを確認する。 ○ICTの効果的な活用により、「個別最適な学び」を進める。	・学校評価「授業では、先生から示される課題に対して、友達や先生の意見や話をよく聴き、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。」数値目標「よくあてはまる」が50% ・ ・		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○生徒会や全校行事等で、「縦割り活動」を取り入れ、生徒が中心となって企画し進めていく。 ○学年の枠を超えた「合同授業」を実施する。	・学校評価「学校の行事や授業で、縦割り集団での活動を積極的に取り組んでいるますか。」数値目標「よくあてはまる」が50% ・ ・		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○特別支援巡回相談やSCなどからの助言から授業づくりを見直し、「いつでも、どこでも、誰でも」を考慮した教育相談の充実をめぐる。 ○小中合同で特別支援教育の連携を図る。 ○小中合同で授業研修を実施する。	・学校評価「説明・板書(プレゼンテーション資料を含む)・発問など工夫し、学ぶ楽しさを感じたり、わかる授業にしようとしているか。」数値目標「よくあてはまる」が50% ・ ・		

- ・4月の職員会議において校長が教育目標や学校経営等について伝える。第1回研究推進委員会において本年度の取組事項に関する具体的な内容について協議する。第2回研究推進委員会において、前期の取組事項について具体的な内容について協議する。取組事項は学校だよりとホームページで保護者や地域に発信する。
 ・全員で取り組む具体的な内容について共通理解し、視点1については情報化リーダーと研究主任、視点2については特活主任と生徒指導主事、視点3については特別支援コーディネーターと教育相談担当が中心となって、組織的に実践につなげる。
 ・定例職員会議では、取組の状況等を共有し、校内研究の7月の中間報告や11月下旬の学校評価における数値や意見等をもとに、改善策について(校内研究部、特別活動部、教育支援部会等)でまとめ、1月の職員会議で共有し、3学期からの取組につなげる。

今年度の取組の成果と課題

--

